

世界史 A

(解答番号 ~)

第1問 王朝や君主について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 28)

A 2012年、①イギリスの都市レスターで、駐車場として使われていた場所から人骨が発掘された。後にそれは、内乱の時代を生き1485年に戦死した②イングランド王リチャード3世のものであることが判明した。リチャード3世は、③16世紀末に初演されたシェークスピアの戯曲の影響で、暴君というイメージで知られてきた。遺骨の発見により、このようなイメージの再考を含め、リチャード3世の実像に関心が集まっている。遺骨はレスター大聖堂にあらためて埋葬され、現在は大聖堂の庭に彼の銅像が立てられている。

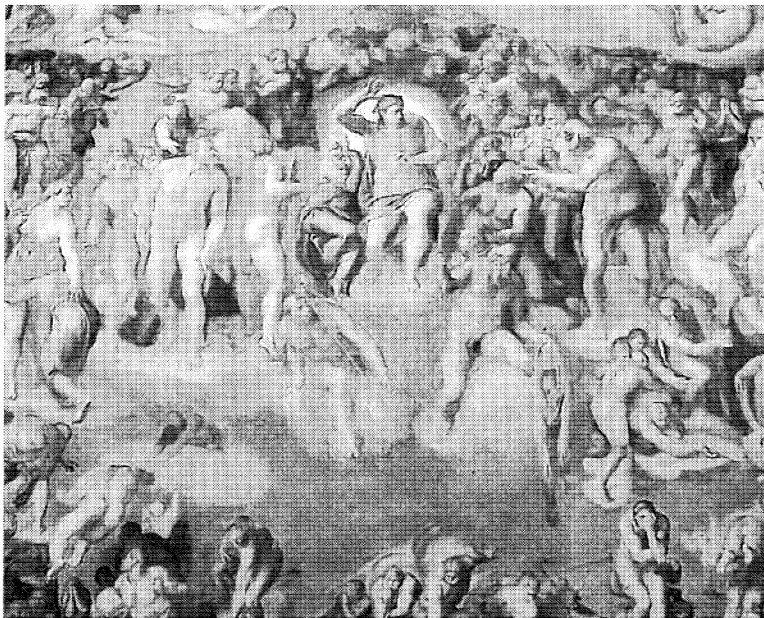
問1 下線部①の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① グラッドストーンが、自由党を率いた。
- ② 第一次世界大戦で、無制限潜水艦作戦を実行した。
- ③ ロベスピエールが、ジャコバン派(山岳派)を指導した。
- ④ 日本との間で、ポーツマス条約を結んだ。

問 2 下線部②に関連して、君主について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ルイ 16 世が、ブルボン朝を開いた。
- ② 趙匡胤が、漢を建てた。
- ③ アウラングゼーブが、サウジアラビア王国を建てた。
- ④ サラディンが、アイユーブ朝を建てた。

問 3 下線部③に関連して、ルネサンス期に描かれた次の絵の作者として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



「最後の審判」(部分)

- ① ピカソ
- ② レンブラント
- ③ ドラクロワ
- ④ ミケランジェロ

世界史A

B 17世紀前半、④清の侵略を受け、これに降伏した⑤朝鮮王朝は、強い反感を抱きながらも、清を冊封体制上の宗主国として戴くことを余儀なくされた。降伏から数年後、朝鮮王朝は清の命令によって、漢城(現ソウル)近郊に「大清皇帝功德碑」という石碑を立てさせられた。その碑文では、清の皇帝の功績と徳行が讃えられている。19世紀末、朝鮮王朝が清から独立した後、石碑は恥辱の遺物として倒されたこともあった。しかし現在では、歴史学・言語学的に貴重な資料と評価され、韓国政府によって⑥文化財の指定を受け保護の対象となっている。

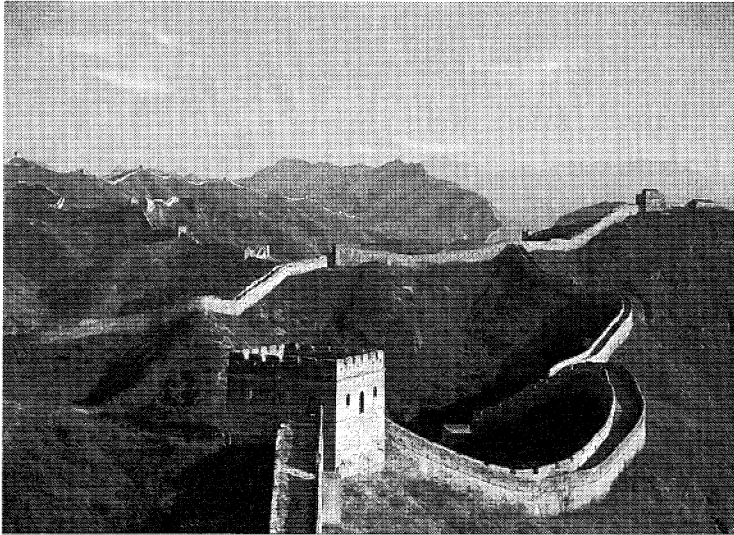
問 4 下線部④に関連して、アジアの王朝や王国について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① スコータイ朝が、ジャワで成立した。
- ② ヴァルダナ朝が、ベトナムを統一した。
- ③ チャンパー(林邑)が、チャム人によって建てられた。
- ④ パガン朝が、モンゴル人によって建てられた。

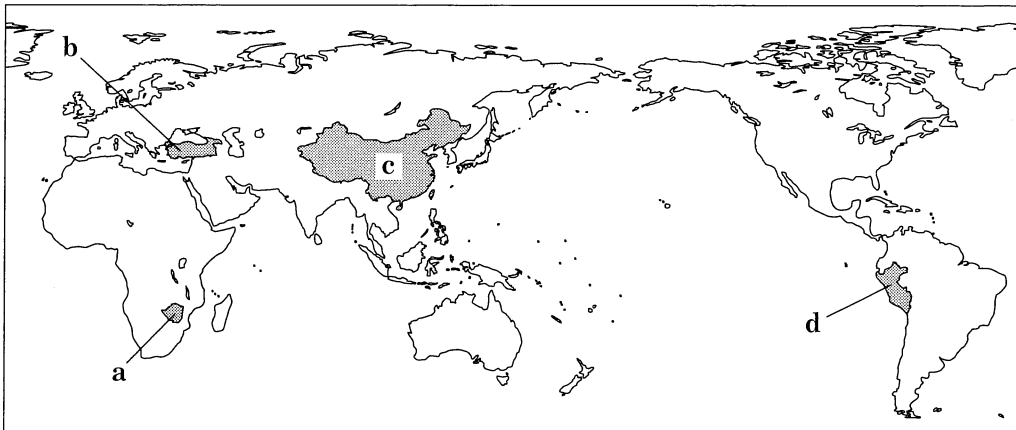
問 5 下線部⑤に関連して、朝鮮半島の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 李自成が、朝鮮王朝(李朝)を建国した。
- ② 金玉均が、甲申政変を起こした。
- ③ 康有為が、義兵闘争に参加した。
- ④ 金正恩が、金大中と南北首脳会談を行った。

問 6 下線部⑥に関連して，次の写真の城壁は，遊牧民の侵入を防ぐために築かれたもので，現在はユネスコの世界遺産に登録されている。その所在国の位置を示す下の地図中の a ~ d のうち正しいものを，下の①~④のうちから一つ選べ。



りようせん
山の稜線に沿い，長距離にわたって築かれた城壁



① a

② b

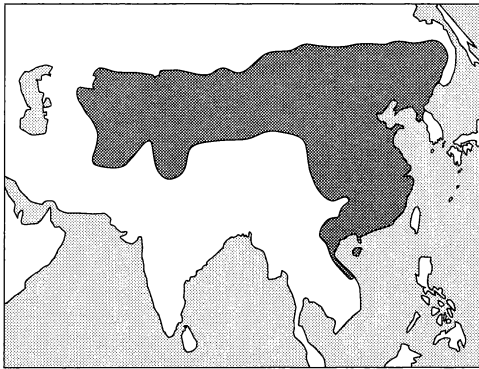
③ c

④ d

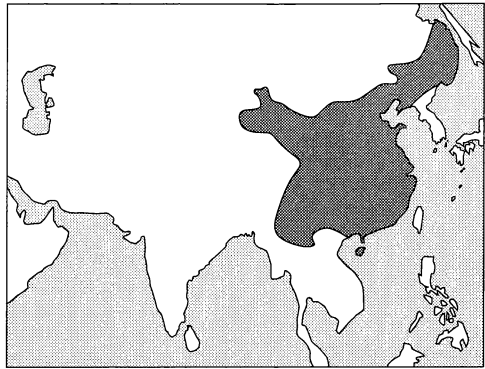
世界史A

C 19世紀初頭、間宮林蔵はカラフト(樺太、サハリン)を探検した後、海峡を渡って沿海地方に上陸した。そこからアムール川を下り、河口付近において船上から遠望した石碑を絵図に描き残している。この石碑には、15世紀に⑦明朝がアムール川下流地域にまで支配の手を広げ、軍事・行政の拠点として役所を設置し、あわせて⑧仏教寺院を創建した経緯が刻まれていた。また、その内容は漢文やモンゴル文など、複数の言語と文字で記された。この石碑は、当該地域に暮らす⑨民族や集団の多様性を反映するとともに、仏教を通して支配を円滑に進めようとした明朝の意図を示すものでもあった。

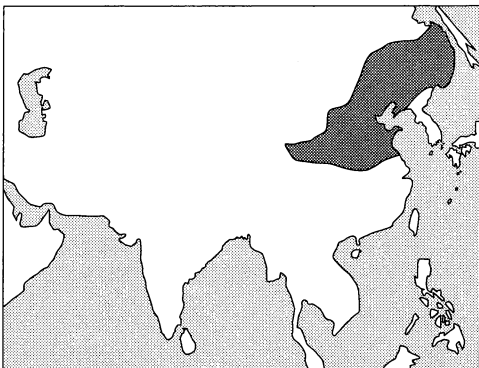
問 7 下線部⑦の15世紀前半の領域を示す地図として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7



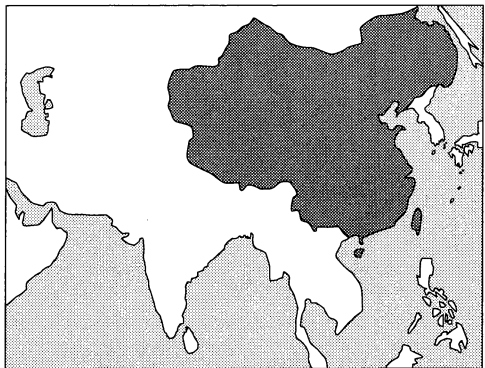
①



②



③



④

問 8 下線部⑧に関連して、宗教に関わる出来事や建造物について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 白蓮教徒の乱が、漢代に起こった。
- ② アクバルは、非ムスリムに対する人頭税(ジズヤ)を廃止した。
- ③ ササン朝は、ユダヤ教を国教とした。
- ④ ボロブドゥールは、道教の寺院である。

問 9 下線部⑨に関連して、民族運動や独立運動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① フィリピンで、五・四運動が起こった。
- ② ベトナム独立同盟が、イギリスへの抵抗運動を行った。
- ③ アラファトが、パレスチナ解放機構(PLO)を指導した。
- ④ アウン=サンが、マレーシアの独立運動を指導した。

世界史A

第2問 産業や労働について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 28)

A 荘園制が展開された中世初期においても、ヨーロッパの人々は①農業だけでなく、手工業・商業を含む様々な労働に従事した。とりわけ②十字軍時代以降になると、対外貿易の活性化や商品・貨幣経済の拡充に支えられて、ヨーロッパ各地に多くの都市が創設され、手工業や商業もいっそう発展していった。それに伴い手工業の職種も多様化し、15世紀半ばにドイツの **ア** が始めたとされる活版印刷は、印刷業という職種を大いに発展させた。これは近世以降のヨーロッパ社会の動向に大きな影響を与えることになった。「情報革命」の原点とされる所以である。

問1 文章中の空欄 **ア** に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① フルトン
- ② ダーウィン
- ③ ガリレイ
- ④ グーテンベルク

問2 下線部①に関連して、労働や労働者・農民について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

- ① エリザベス1世が、農奴解放令を出した。
- ② 宋代の農民は、租庸調制の下で税を負担した。
- ③ スペインの国立作業場設立のため、ルイ＝ブランが尽力した。
- ④ フォード社は、流れ作業を導入し、自動車の大量生産を実現した。

問 3 下線部②に関連して、十字軍やその影響について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① セレウコス朝の勢力拡大が契機となった。
- ② カリフが十字軍を提唱した。
- ③ 東方貿易が盛んになった。
- ④ デリーの奪還を目指した。

世界史A

B 今日では、政治や商業・各種サービス業の③都市としての印象が強いロンドンだが、かつては、製造業も重要な位置を占めていた。1851年にはロンドンの④労働者の5割弱が、製造業で雇用されていたという。彼らの多くは、同時期には260万人を超えていたロンドン住民の衣食住に関わる、雑多なものづくりに従事していた。例えば、ロンドンの貧しい人々の生活を描き、⑤19世紀のイギリスを代表する文豪の一人となったチャールズ＝ディケンズは、少年期にストランド地区の靴墨工場で働いていた。

問 4 下線部③について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① スターリングラードで、ソ連軍とドイツ軍が戦った。
- ② 北京で、中国同盟会が結成された。
- ③ トンブクトゥが、アクスム王国の下で栄えた。
- ④ バグダードは、ウマイヤ朝の都とされた。

問 5 下線部④に関連して、労働者や社会主義の運動について述べた次の文 a ~ c が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。 14

- a 第2インターナショナルが結成された。
- b ポーランドで、自主管理労働組合「連帯」が結成された。
- c イギリスで、チャーティスト運動が始まった。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問 6 下線部⑤の時期に起こった、経済や産業に関わる出来事について述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 15

- ① カリフォルニアで金鉱が発見され、ゴールドラッシュが起こった。
- ② イギリスで、航海法が制定された。
- ③ プレトンウッズ体制(プレトン=ウッズ体制)が成立した。
- ④ ケイが、飛び梭(飛び桴)を発明した。

世界史A

C 19世紀後半以降、外国貿易の中心地として⑥経済発展した上海には、職を求めて中国各地から多くの人が入流した。彼らが都市で仕事を得るにあたって頼りにしたものの中に、地縁関係がある。それ故に、同一の職種には同じ地域の出身者が集う傾向があり、例えば人力車夫には江北出身者、埠頭^{ふとう}の倉庫内荷役労働者には寧波出身者が多かった。地縁関係者の組織である同郷会は、仕事の紹介や職業訓練だけでなく、⑦学校経営や、異郷で⑧死去した同郷人の棺^{ひつぎ}を故郷へ移送する手配なども行っていた。

問 7 下線部⑥に関連して、商工業について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① 朱印船貿易を通して、アフリカ東海岸に日本町がつくられた。
- ② 19世紀に、スペインは「世界の工場」と呼ばれた。
- ③ フェニキア人が、地中海交易で活躍した。
- ④ 景德鎮は、漆器の代表的生産地であった。

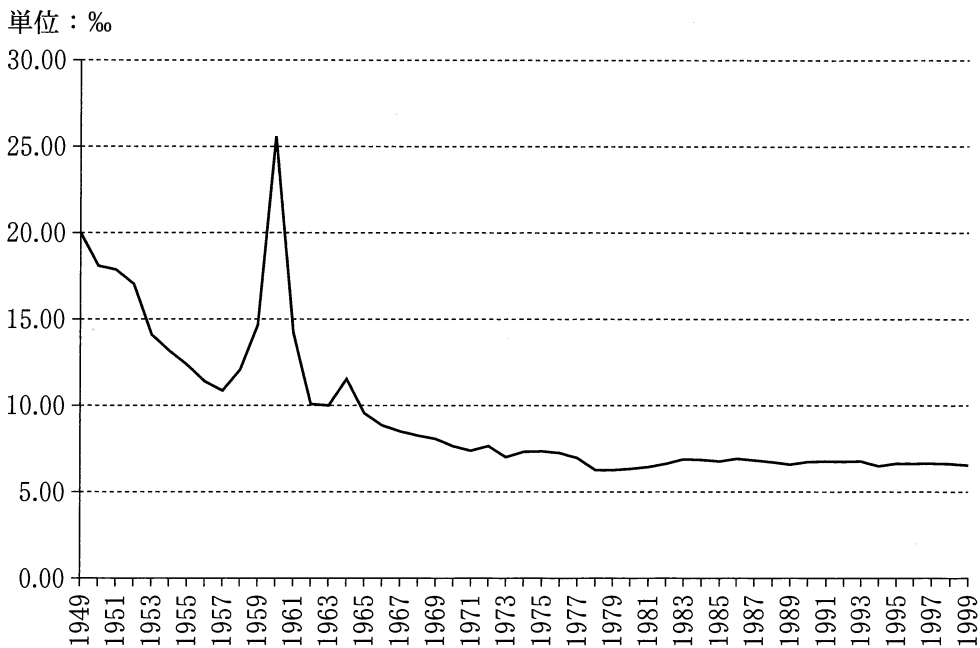
問 8 下線部⑦に関連して、教育や学問について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

17

- ① 漢代に、朱子学が始まった。
- ② 魯迅は、アメリカ合衆国に留学した。
- ③ ベトナムで、ドンズー(東遊)運動が進められた。
- ④ 古代ギリシアで、スコラ学が発展した。

問 9 下線部⑧に関連して、次の文章は中国の政策と人口変動について述べたものである。また下のグラフは、1949年から1999年までの中国における死亡率を千分率(‰)で示したものである。文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

中華人民共和国成立後、ソ連の支援を受けて進められた **ア** 終了までは、死亡率が減少し続けた。しかし、 **イ** が実施されると、一時期死亡率は25‰を超えた。



(若林敬子・轟海松編『中国人口問題の年譜と統計—1949～2012年—』より作成)

- ① **ア** — 第1次五か年計画 **イ** — 文化大革命
- ② **ア** — 第1次五か年計画 **イ** — 大躍進政策(大躍進運動)
- ③ **ア** — 改革・開放政策 **イ** — 文化大革命
- ④ **ア** — 改革・開放政策 **イ** — 大躍進政策(大躍進運動)

世界史A

第3問 植民地とそれをめぐる対立や抗争について述べた次の文章A・Bを読み、
下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 22)

A アメリカ①先住民とヨーロッパ人入植者との間には、一時的な友好関係が成立することはあった。しかし概して、自らを「文明化した人間」であるとする入植者が、「野蛮な②異教徒」とみなす先住民に同化や退去を求め、抵抗する者を暴力で排除することが一般的だった。これに不満を持つ北アメリカ大陸の先住民は、自らの自由と独立のためにイギリスと同盟し、③アメリカ独立戦争で植民地軍と戦った。先住民と入植者との戦いは、イギリスがアメリカの独立を承認した1783年の ア の後にも、北西インディアン戦争といった形で続いた。ヨーロッパからの独立戦争は終結しても、アメリカ合衆国内の「植民地闘争」は形を変えて続いたのである。

問1 文章中の空欄 ア に入れる語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① パリ条約
- ② カルロヴィッツ条約
- ③ キャフタ条約
- ④ ロカルノ条約

問 2 下線部①について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、
下の①～④のうちから一つ選べ。 20

- a オーストラリアの先住民は、ポルトガルの植民地化によって圧迫された。
b 中南米の先住民は、スペイン人が持ち込んだ疫病に苦しめられた。

- ① a — 正 b — 正
② a — 正 b — 誤
③ a — 誤 b — 正
④ a — 誤 b — 誤

問 3 下線部②に関連して、宗教や宗派の対立・分離について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会は、18世紀に分裂が決定的になった。
② フェリペ2世は、ネーデルラントのプロテスタントを圧迫した。
③ イギリスは、インドで仏教徒とヒन्दゥー教徒の分離を図った。
④ ムスリムは、アケメネス朝時代に、スンナ派とシーア派に分かれた。

問 4 下線部③に関連して、アメリカ合衆国の独立に至る歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① マカートニーが、独立宣言を起草した。
② フランクリン＝ローズヴェルトが、植民地軍総司令官に任命された。
③ イギリス本国に、印紙法を撤回させた。
④ フランスが、独立戦争でイギリスを支援した。

世界史A

B 第二次世界大戦の緒戦で、④フランスはドイツに降伏した。ドイツ軍に占領された本国には対独協力政権が樹立され、仏領⑤植民地はその管轄下に置かれた。他方、敗戦を認めず、国外からレジスタンスを展開したド＝ゴール将軍は、活動拠点を植民地に築くことを目指した。これに成功した彼は、1944年のパリ解放の立役者となる。戦後⑥フランスを指導したのは、そうしたレジスタンス勢力だった。彼らにとって本国と植民地はそもそも一体不可分であり、植民地がレジスタンスの足場となったことで、その意識はいつそう堅固になった。それゆえ戦後の民族自決の流れに反して、フランスでは植民地支配の継続が模索されたのである。

問 5 下線部④における文化政策や文化事業について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① エッフェル塔が建てられた。
- ② 「ラ＝マルセイエーズ」が、国歌となった。
- ③ フランス革命中に、メートル法が採用された。
- ④ ウッドストック＝ロックフェスティバル(ウッドストック＝フェスティバル、ウッドストック音楽祭)が開催された。

問 6 下線部⑤に関連して、アフリカにおける植民地政策や植民地の動向について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① ソ連が、アフリカ横断政策を展開した。
- ② オランダが、2度にわたってモロッコ事件を起こした。
- ③ 第一次世界大戦勃発までに、ナイジェリアとリベリアを除くアフリカ全土が列強の植民地となった。
- ④ 多くの植民地が独立を果たした1960年は、「アフリカの年」と呼ばれる。

問 7 下線部⑥に関連して、指導者や君主について述べた文として正しいものを、
次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① オクタウィアヌスは、元老院からアウグストゥスの称号を授けられた。
- ② カストロが、イランで革命運動を指導した。
- ③ チャーチルは、第一次世界大戦中のイギリスで首相となった。
- ④ チュラロンコン(ラーマ5世)が、ラオスで近代化政策を進めた。

世界史A

第4問 法と規範について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 22)

A ①五代十国時代は、前の時代からの②法典が引き継がれてはいたが、実際には規定を上回る厳刑がしばしば行われていた。例えば、私塩(密売の塩)は、王朝の財政を支える専売制度を脅かすものとして、10 kg 余りを所持してただけで死刑に処されていた。五代最後の王朝となった後周は、このような厳刑を緩和して民心の安定を図るとともに、自営農民の育成につとめた。それによって、華北から江南への人口流出に歯止めがかかるなど、華北社会は徐々に③秩序を取り戻していった。

問1 下線部①の時期の中国に関わる出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 琉球王国が朝貢した。
- ② 日本と勘合貿易が行われた。
- ③ 煬帝が高句麗遠征を行った。
- ④ 武人が政権を握った。

問2 下線部②に関連して、世界史上の法や宣言について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① イギリスでは、権利の章典により、議会主権(議会主導の政治)が確立した。
- ② フランス人権宣言は、自由・平等、国民主権(主権在民、人民主権)をうたった。
- ③ モンロー宣言で、アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉が唱えられた。
- ④ パルティアは、イスラーム法に基づいて、政治を行った。

問 3 下線部③に関連して、政治体制や政治理念について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 古代の日本は、漢の律令制を取り入れて、国家体制の整備を行った。
- ② リンカンは、「人民の、人民による、人民のための政治」を訴えた。
- ③ ブワイフ朝で、タンジマートが実施された。
- ④ 周は、郡国制をしいた。

世界史 A

B 中世アイスランドでは、サガと呼ばれる④歴史物語が作られた。そこには、血染めの衣服を投げつけるなどの象徴的な行為や言葉で、家族や親族の男性を復讐^{ふくしゅう}へと駆り立てる⑤女性の姿がしばしば描かれている。13世紀後半までのアイスランドには、全土に共通の⑥法は存在したが、法の違反者を取り締まり、罰を与えるような統治者がいなかった。そのような社会において、傷害や侮辱などの攻撃に対し⑦実力によって反撃することも正当な権利の一つとして認められており、女性も間接的にその実行に関わっていた。復讐の可能性は最初の攻撃を思いとどまらせることにつながり、秩序の維持に寄与していたのである。

問 4 下線部④に関連して、物語や文学について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 『千夜一夜物語』は、ヘレニズム文化を代表する作品である。
- ② 『マハーバーラタ』は、インドで成立した。
- ③ マキアヴェリ(マキアヴェッリ)が、『神曲』を著した。
- ④ ゴラが、『レ＝ミゼラブル』を著した。

問 5 下線部⑤について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

- a ヴィクトリア女王を皇帝として、インド帝国が成立した。
- b ナイティンゲールが、クリミア戦争で傷病兵を看護した。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

世界史 A

問 6 下線部⑥に関連して、次の年表に示した a ~ d の時期のうち、三十年戦争の状況を見たグロティウスが、国際法の確立を提唱した時期として正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 31

a
1335 年 ハプスブルク家がケルンテンを領邦に編入
b
1555 年 アウクスブルクの宗教和議
c
1780 年 第 1 次武装中立同盟の成立
d

- ① a ② b ③ c ④ d

問 7 下線部⑦に関連して、反乱やクーデタについて述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 32

- ① 洪秀全が挙兵し、太平天国を建てた。
- ② キール軍港での水兵の反乱を機に、ロシア革命が起こった。
- ③ 隋で、安史の乱が起こった。
- ④ レザー＝ハーンがクーデタを起こして、カージャール朝を開いた。